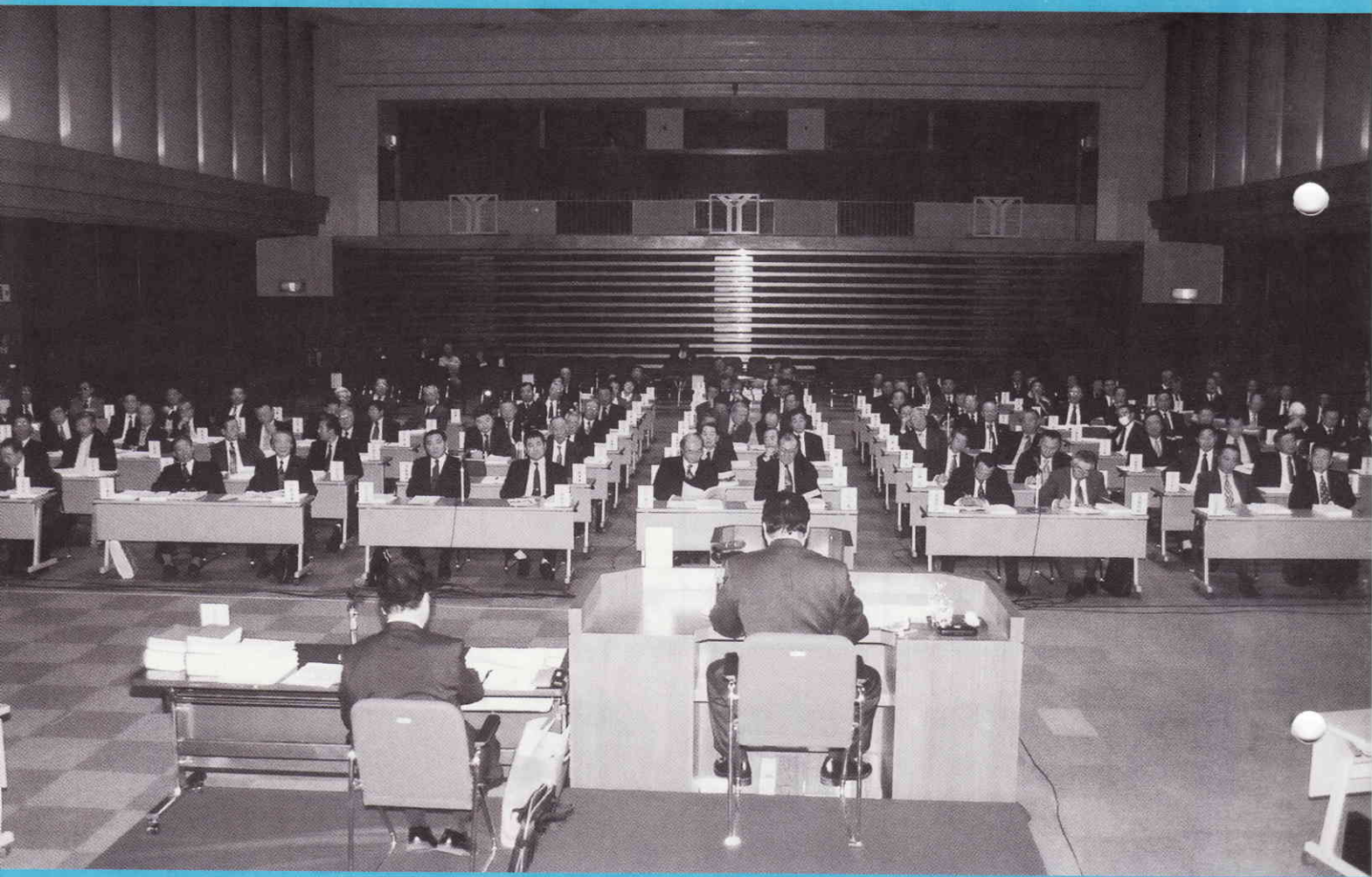


市議会だより

平成17年8月16日 創刊号



六月定例会のあらまし

合併後初めての定例会（第一回）は六月九日に招集され、三十日までの二十二日間の会期で行われました。

初日に市長から所信表明並びに本年度の施政方針があり、この中で、それぞれの旧市町村の先達が築いてきた産業、文化、伝統、地域の特性を活かし、さらには、旧町村長が目指したまちづくりへの想いを継承し、大仙市全域がそれぞれの地域の特色と独自性を発揮しながら発展し、人が活き、集うような魅力ある地域、安心して暮らせる地域の創造に向け、誠心誠意努めてまいります。

また、地方分権時代の地域づくりには、「住民の行政参画」、「住民との協働」が最も重要な要素であると考えており、そのためには、職員が常に市民の目線に立ち、現場に足を入れ、市民と一緒に汗をかき、行政情報は出来る限り分りやすく市民に提供する体制をつくり、住民自らが地域づくりに参画出来る仕組みを大仙市全域に広げてまいりたい、と述べられました。

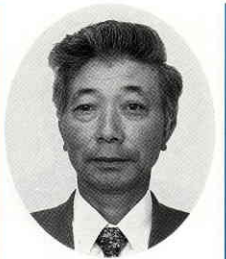
上程された案件は、専決処分報告十四件、条例案七件、平成十七年度予算案二十六件、単行案十三件の合計六十件、いずれも承認並びに可決、同意と決しました。



24
竹原 弘治
2 神岡



23
鈴木 三男
2 神岡



22
児玉 裕一
2 大曲



21
北村 稔
1 大曲



20
仲村 力夫
6 大曲



19
杉澤 千恵子
1 大曲



32
高橋 恵五郎
2 仙北



31
佐々木 秀治
4 仙北



28
三浦 一夫
2 中仙



27
千葉 次郎
5 中仙



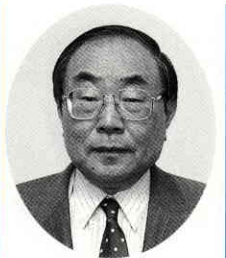
26
加藤 博康
3 西仙北



25
伊藤 晴敏
1 西仙北



39
佐藤 孝次
3 大曲



38
齊藤 正俊
2 大曲



37
菊地 幸悦
1 大曲



35
佐々木 清二郎
4 南外



34
伊藤 祐耕
2 太田



33
伊藤 長一
4 太田



46
千葉 健
4 中仙



45
千葉 友悦
3 中仙



44
田村 一郎
8 西仙北



43
伊藤 晴通
1 西仙北



42
大野 忠夫
3 神岡



40
山崎 栄一
2 大曲



52
鈴木 長生
3 太田



51
高橋 清之助
2 太田



50
佐藤 隆盛
2 仙北



49
大野 清昭
8 仙北



48
小笠原 悌二郎
2 協和



47
豊嶋 明
10 協和

議長就任あいさつ

議長 加藤 美勲
副議長 鈴木辰美

このたびは、温かいご推挙により、大仙市議会初代議長に就任しましたことは、まことに身に余る光栄であり、また感激にたえない次第であります。もとより、浅学非才でございますが、果してこの重責を全うし、ご期待に添うことができるかどうか、危惧しておりますので、このうえは全精力を傾注し、この大任を果たしたいと念願している次第であります。

今日、国土の均衡ある発展と地方の活性化のため、国・地方を通ずる行財政改革を行い、真の意味での自主的、自立的な地方自治の確立が求められております。大仙市におきましても、三月二十二日に一市六町一村が大同合併し、県下第二の人口を有する都市として誕生いたしました。

私は、議員の在任特例により任期が九月末までと短期間ではございますが、合併後まもない大仙市が抱えている諸問題解決のため、皆様と相携えて、最大の努力をいたしたいと存じております。どうか絶大な御支援と

御協力を切にお願い申し上げます。

長期化する経済不況、雇用の場の喪失、あるいは少子高齢化や地元における生産年齢層の流出等々、どれをみても、直接、市民生活に影響を与える課題が山積しておりますが、市民皆様の声を的確に市政に反映させることが私どもの責務であると考えております。急変・激動する現代社会のなかで、私どもに与えられた時間は残り少なくなりましたが、常に、市当局と議会が互いの分野の任務をしっかりと把握し、市民生活・福祉の向上を目指し頑張る所存でございます。市町村合併により財政基盤の強化はもとより、行政サービスの向上と高齢者福祉のサービスの充実、教育環境の整備、事務事業や行政コストの大幅削減等、市民皆様の負託にこたえてまいりたいと思っております。

今後とも、大仙市議会に対しまして、今まで以上の深いご理解とご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。議長就任のごあいさつと致します。

大仙市議会

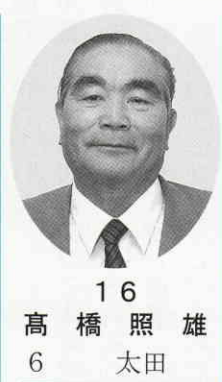
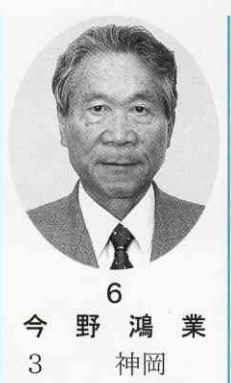
写真







議席番号







氏名







当選回数

地域



 91 高橋孝夫 3 大曲	 90 佐藤芳雄 4 南外	 89 伊藤清 4 南外	 88 本多良典 3 太田	 87 小松悦歩 5 太田	 86 鈴木誠一 6 仙北
--	---	--	---	---	---

 97 大橋秀 3 西仙北	 96 後藤昌伸 5 西仙北	 95 佐藤一 3 神岡	 94 今野篤 4 神岡	 93 加藤勲 9 大曲	 92 鈴木孝篤 7 大曲
--	--	--	--	--	---

 103 大山利吉 2 仙北	 102 大山茂 8 仙北	 101 茂木隆 3 協和	 100 橋本五郎 8 協和	 99 小山緑郎 2 中仙	 98 藤田君雄 4 中仙
--	--	--	---	--	--

 109 小山田トシ 5 西仙北	 108 佐々木忠雄 7 西仙北	 107 佐藤清吉 5 南外	 106 佐々木圭一 4 南外	 105 門脇茂雄 3 太田	 104 出原武郎 3 太田
---	--	--	---	--	--

 117 高橋幸晴 2 太田	 116 長澤春男 6 太田	 115 原則雄 3 仙北	 114 高橋一志 3 仙北	 113 加藤孝悦 3 協和	 111 信田勇一 9 中仙
---	--	---	--	--	--



59
武藤 清
3 神岡



58
能味 崙一
3 大曲



57
藤嶋 次男
2 大曲



56
熊澤 龍雄
3 大曲



55
大坂 義徳
5 大曲



54
佐々木 恒男
3 南外



66
進藤 文五郎
10 協和



64
鈴木 静男
2 中仙



63
高橋 篤朗
4 中仙



62
三浦 泰治
7 西仙北



61
鎌田 正
5 西仙北



60
田中 喜一郎
7 神岡



72
佐藤 泰久
5 南外



71
亀井 義信
2 南外



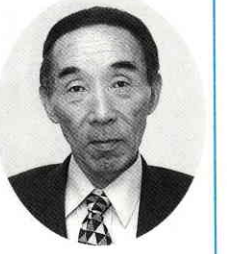
70
伊藤 克輝
4 太田



69
福原 信男
5 太田



68
川原 忠夫
4 仙北



67
土井 文夫
3 仙北



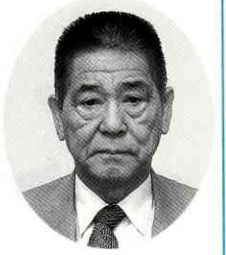
78
佐々木 十三夫
2 神岡



77
畦田 健
3 神岡



76
高橋 敏英
3 大曲



75
鈴木 勝博
4 大曲



74
大坂 猛夫
4 大曲



73
藤谷 一誠
2 大曲



85
小西 郁雄
3 仙北



83
今野 智
7 協和



82
富岡 弘
1 中仙



81
戸堀 實
3 中仙



80
佐々木 與一
4 西仙北



79
小松 栄治
5 西仙北

橋一志・鈴木馨・高橋長一郎
〔建設水道常任委員会〕

◎高橋孝夫○佐藤勝美・小山誠治・渡邊秀俊・鈴木三男・加藤博康・高橋恵五郎・菊地幸悦・大野清昭・進藤文五郎・藤谷一誠・佐藤芳雄・佐藤一・信田勇一・木元正一郎・草薨忠誠・松本博・鈴木隆太郎・岡田博介・小柳悦朗

〔議会運営委員会〕

◎佐々木昌志○高橋篤朗・齊藤正俊・大野忠夫・大野清昭・田中喜一郎・佐藤泰久・今野智・鈴木孝篤・出原武郎・佐々木圭一・佐々木忠雄・高橋一志・鈴木馨・高橋長一郎

〔大曲仙北広域市町村圏組合議会議員〕

・今野鴻業・佐々木昌志・佐々木金治・千葉次郎・佐藤清吉・鈴木辰美・門脇一男

〔大仙美郷環境事業組合議会議員〕

・川原誠徳・竹原弘治・千葉次郎・佐々木恒男・小松栄治・橋本五郎・門脇茂雄

〔大仙美郷介護福祉組合議会議員〕

・伊藤祐耕・土井文夫・加藤勲・長沢典雄・門脇一男

〔一般質問〕

以下の議員が市政全般にわたる市当局の見解をたどしました。

■新市の一体感をいかににつくり出すか

小笠原悌二郎（協和地域）

【質問】自治体が大きくなればなるほど、住民個々の協力・共働の精神が高められることが大切であり、交流の機会や新市への愛着を培うことこそ重要と考える。そこで、市民の交流機会をいかに計画しているか伺いたい。

【答弁】旧市町村では様々なイベント等を開催しているが、これら各種イベントにより多く、より広く、旧市町村の垣根を超え住民の参加を図ることにより、大仙市民お互いの仲間意識が生まれ、住民どうし温かくふれあえることで、地域間の交流と連携が始まり、それによって、活気あふれる大仙市が創りあげられると考えている。

■小学六年生までの医療費無料制度について

今野智（協和地域）

【質問】旧協和町で実施していた、小学校六年生までの医療費無料制度を全市で実施しているが、財政問題と絡めての議論も

あり、すぐれた施策を不安視する住民も多い。あらためて市長の見解を求めたい。

【答弁】県においては、福祉医療制度の中の乳幼児医療について、一部自己負担を導入する方向で検討し、その後に市町村民税非課税世帯とゼロ歳児の自己負担分を全額助成する方向に転換しようとしている。このため乳幼児医療にかかる県補助金の減額が予測されるが、合併協議での決定事項でもあり、この自己負担分は市で助成することとしている。しかし、負担の公平性や受益と負担の適正化、また、他の子育て支援策も含めた中で、総合的に検討する必要があると考える。

■真木ダム建設中止と大仙市の水道計画について

信田勇一（中仙地域）

【質問】真木ダム建設中止となれば、当然大仙市の上水道計画も水の安定供給からも見直しが必要となってくる。見直し策定はどういう計画でやっていくのか伺いたい。

【答弁】市内全域を見ても、生活用水に不安を抱え、早期改善を望む地域があり、水道事業計画の策定にあたっては、新たな水源確保とともに、現有の上水

道の給水区域の拡張に併せ、集落単位の簡易水道の統合なども含めて検討し、できるだけ早期に安全で安定した水道水の供給に努めて参りたい。

■組合総合病院の移転について

伊藤晴通（西仙北地域）

【質問】組合総合病院の機能充実を考えるが、特に、大仙市周辺地区の小児二次救急において、人員援助が必要と思うが、見解を伺いたい。

【答弁】県では小児救急医療協議会が昨年設置され、本県の小児救急医療体制について協議が進められており、大仙市周辺では大曲仙北医師会の小児科医師が県内の他の圏域に先駆け、組合病院の一室で地元医師数名での自発的な小児救急医療の取り組みとして、八月より診療ができるよう検討中のようなのである。人員援助については、秋田県、医師会など関係機関と協議して参りたい。

■合併協定書の遵守について

大野忠夫（神岡地域）

【質問】合併初年度で尚かつマスタープランも作成されていない段階での、合併協定事項を反故にするような予算編成ではな

いか。
・採択済みの事業費（まちづくりに交付金事業）が削除されているのは何故か伺いたい。

【答弁】旧市町村がそれぞれの考え方から計画し、事業採択を受けたものであるが、大仙市としての事業の位置付けや全市民的視点、地域のバランス、さらには、事業の年度間の平準化について精査する必要があることから、精査する時間をいただくため、当初予算では現時点で計上できる分について予算化したものである。今後、事業内容が確定次第、補正予算または後年度事業として対応して参りたい。

■学校における個人情報保護について

今野鴻業（神岡地域）

【質問】各大仙市立小・中学校では校務処理の電子化（情報データ）はどの程度まで進んでいるか。また、「個人情報保護に関する法律」が施行されてから、市内の保育園、幼稚園、小・中学校で連絡網が廃止されているケースがあるようだが、緊急連絡の必要が生じたときに、どのように対処するのか伺いたい。

【答弁】小学校では児童の名簿、中学校では名簿・成績がほとんどの学校で電子化されている。

議会構成

〈議長〉加藤 勲

〈副議長〉鈴木辰美

〈監査委員〉長澤 春男

〈委員長〉副委員長

〈総務常任委員会〉

◎大山茂 ○小笠原悌二郎・佐々木昌志・佐藤耕悦・杉澤千恵子

〈企画常任委員会〉

◎門脇一男 ○大野忠夫・仲村力夫・児玉裕一・佐々木秀治・齊藤正俊・千葉友悦・鈴木長生

〈教育民生常任委員会〉

◎橋本五郎 ○門脇茂雄・藤田和久・高松昭一・菊地喜代司・三浦一夫・佐々木清二郎・能味塔一・武藤清・田中喜一郎・鎌田

〈健康福祉常任委員会〉

◎小松栄治 ○土井文夫・佐藤文子・田中孝悦・安部寛治・佐々木金治・伊藤祐耕・山崎栄一・田村一郎・千葉健・豊嶋明・熊澤龍雄・三浦泰治・伊藤克輝

〈農工商常任委員会〉

◎北村稔 ○亀井義信・今野鴻業・小松一義・進藤聆爾・川原誠徳・高橋照雄・竹原弘治・佐藤孝次・伊藤晴通・鈴木静男・川原忠夫・高橋敏英・佐々木與一・小松悦歩・鈴木孝篤・佐々木忠雄・高



122 齊藤博幸 3 協和



121 草野忠誠 4 中仙



120 木元正一郎 6 中仙



118 菅原長左衛門 5 西仙北



126 鈴木馨 3 太田



125 松本博 3 仙北



124 大河昇 8 仙北



123 鈴木辰美 7 協和



131 長沢典雄 3 仙北



130 高貝昌伸 2 中仙



128 岡田博介 3 西仙北



127 鈴木隆太郎 1 太田



135 高橋長一郎 4 中仙



134 門脇一男 3 太田



133 小柳悦朗 2 太田



132 斎藤幸巳 5 仙北



136 佐々木洋一 4 中仙

四分団体制としており、団員数も千四百二十名余と組織そのものも大きくなり、管轄区域も従来より広大なものになっており、隣接する支団間の管轄区域のあり方と出勤態勢、団員の減少傾向や会社勤めの団員の増加など、新たな課題も出てきており、消防団装備、拠点施設の整備拡充、団員の待遇なども含めて、大仙市消防団としての一体感の醸成、団員の士気の高揚をはかって参りたい。

■大仙市農業について

藤田君雄（中仙地域）

【質問】今年の野菜等低温対策及び生産者のマーケティングに対する行政としての対応をお聞きしたい。

【答弁】現在、JA秋田おぼこや当該作目部会において対応策を協議していること、その動向に注視しているが、今後、新市の農業マスタープラン等の策定作業において、現在の三十二品目の重点作物の絞り込みや、ご指摘の低温対策等の協議を通し、広く新市の農業振興の観点からも具体化されるものと考えているので、ご理解願いたい。次に、マーケティングに対する対応については、大仙市で

も「おぼこ米」や「おぼこ牛、ほうれん草、モロヘイヤ」等、市場評価の高い農畜産物があるが、付加価値の面も含め関係制度や先進事例の調査、推進のノウハウ等に係る作業に着手してみたいと考えている。

■省エネ対策について

能味塔一（大曲地域）

【質問】国や県で導入しているノーネクタイ、ノー上着について見解を伺いたい。また、サマータイム導入の論議について見解を伺いたい。

【答弁】ノーネクタイ、ノー上着については、執務上の快適性には一定の効果は認めつつも、公務員の身だしなみという観点から、今年度はノー上着を実施するとともに、市民の声を伺いながら来年度以降の実施について検討して参りたい。サマータイム導入については、その効果が期待される一方で、効果に疑問を呈する考え方があるほか、実施に伴う種々の課題も指摘されているところであり、今後の国や県の動向に注視して参りたい。

■小中学校の統廃合について

田中孝悦（神岡地域）

【質問】近年の少子化により小・中学校の統廃合は避けて通れない問題であるが、統廃合計画について、市長の見解を伺いたい。

【答弁】少子化に歯止めがかからず、大仙市においても、五年後には千六十九人の児童生徒が減少し、複式学級も五地区八校になると見込まれており、今回の合併を機に大仙市全域を見渡し、将来を見据えて望ましい学校配置を考えていくため、今年度はその基本調査費を予算計上している。

■新庁舎の建設について

佐々木洋一（中仙地域）

【質問】市長は一期目に新庁舎建設に着手するかどうか。着手するとすれば、どのように進めていくのか伺いたい。

【答弁】新庁舎の建設にあたっては、市の将来的な事務組織及び機構はどうあるべきかという点や公共施設についての機能や配置などについて、庁内に検討委員会を設置し検討して参りたい。また、市町村合併による庁舎建設に際しては、合併特例債の適用が可能であるが、厳しい財政事情を勘案すると、他の主要事業との兼ね合いも考慮し、建設時期につきましても、併せ

て慎重に検討して参りたい。

■対等合併とコンプライアンス（市条例に違法性を見る）

鈴木隆太郎（太田地域）

【質問】大仙市議会の議員の報酬、費用弁償等に関する条例、附則の第三項の規定は、違法と思われるかどうか。合法であるならば、合法である法的根拠を明示していただきたい。

【答弁】地方自治法第二百三条第五項の規定では、報酬の額とその支給方法は条例で定めなければならないとされているが、報酬額に差を設けてはならないという規定はなく、また、条例附則第三項は、期限のある「在任特例期間」中の議員報酬の特例について定めたものであることとや、さらには報酬決定の手続きについても、法定協の協議を経て合理的に行われていることから、議員報酬額を旧市町村の額とすることに違法性はありません。

【議案質疑】

■議案第三十二号大仙市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

千葉友悦（中仙地域）

【質問】条例改正による税率の

アップは、旧町村では大幅な負担増となった地域もあるが、合併時の激変緩和措置を講じるためにも、基金をもっと繰り入れすべきではなかったか。

【答弁】今年度は、税以外の財源として基金と繰越金を合わせ六億七千万円ほどを積み込むこととして激変緩和を図ったものであり、基金の残額となる五億百一十六千円については、十七年度決算状況によるが、来年度以降の税率調整財源とさせていただきますと考えている。

【予算質疑】

■住民基本台帳ネットワークシステム整備事業費について

伊藤晴通（西仙北地域）

【質問】住基ネットについて、多くの自治体が離脱宣言しており、個人情報管理の重大さが増している中、住基ネットは安全か、また、その安全性を検討しているのか伺いたい。

【答弁】技術面では、専用回線によりネットワークを構築している他、市区町村でも庁舎内の他のネットワークと切り離すことにより、完全に他のネットワークと遮断されている。また、運用面では、各市区町村毎に住基

また、連絡網については、保育園、幼稚園、小・中学校とも、保護者の同意を得たうえで個人情報に配慮した連絡網の配付や職員が直接保護者に電話連絡するなどの方法をとっている。

■合併後の各総合支所の職員について

伊藤祐耕（太田地域）

【質問】市町村合併により、各総合支所に町村長が不在となった現在、職員の勤務態度に変化が生じていないか、伺いたい。

【答弁】各総合支所に支所長及び支所次長といった、新たな管理責任者を配置し、合併したら対応が悪くなったとか、サービスが低下したというような苦情が出ないよう、十分指導監督しているところであり、職員については、従来と変わらず業務を遂行しているものと考えている。

■納税貯蓄組合について

大橋秀（西仙北地域）

【質問】市において、合併前の完納奨励金が廃止され、事務費として組合に助成することとされているが、この内容について伺いたい。

【答弁】合併を期に納税貯蓄組合法の中に述べられている事務費を助成するものであり、内容

としては、事務用品、研修会等の会場借上料や茶菓子代、啓蒙用チラシ、郵便料等である。今後とも啓蒙活動を盛んにし、未加入者への加入促進を図り、より一層、納税推進の核となるよう育成に努めて参りたい。

■大仙市としての重点課題について

藤田和久（大曲地域）

【質問】高齢化社会の進行を弱める若者の地元への定着をめざすまちづくりが必要と考えるが、市当局としてどのように考えるのか、伺いたい。

【答弁】若者にとって魅力ある農業、魅力ある産業の創出、住民が起業できる仕組みが望まれている。そのために、農業においては「大仙市水田農業ビジョン」の柱の一つである「多様な担い手の育成」の事業展開を行い、また、商工業については、市内企業の雇用機会の拡大を喚起し、若年層の地域定住を促すため、雇用助成制度を実施し、併せて、地場産業の育成、福祉分野による雇用拡大、地元発注に加え、企業誘致活動等により若年層の地域雇用の拡大に努めて参りたい。

■平成十七年度当初予算について

千葉健（中仙地域）

【質問】平成十七年度当初予算の各支所ごとの予算配分について、基本ベースとなったのは何なのか、伺いたい。

【答弁】今回の当初予算は、合併前の旧市町村において、合併協議会での協議事項や建設計画など、それぞれ予算要求していったものを持ち寄って合算し、調整した予算原案を基に編成したものであり予算配分方式はとっていない。

■予算編成の基本的方針について

小山緑郎（中仙地域）

【質問】普通建設事業については、「優先順位を勘案し緊急性があり」とあるが、選定基準と判断、検討メンバーについて伺いたい。

【答弁】それぞれの事業を所管する各部・各支所から具体的な事業内容を聞き取りしたところ、補助採択の不透明な事業や合併特例債の採択基準に満たない事業でも合併特例債事業として計画されている事業があり、市債の後年度の負担や今後の三位一体改革の方向性を考えると財源

確保がますます厳しくなる現状の中、まず補助内示があるような財源の確実なもの、すぐに着手しなければ市民生活に影響を及ぼすと思われる緊急性のあるものを優先的に予算化したところであり、逆に当初計画になかった事業も追加計上している。

■四月一日付の人事異動について

安部寛治（中仙地域）

【質問】四月一日付の人事異動については、昇格等について旧市町村間でのギャップが見られ、不公平感のある人事に見受けられる。職員のやる気、喚起のためにも、この点を改善される余地、予定はあるのか、伺いたい。

【答弁】四月一日付の人事異動については、旧市町村において従来どおり行ってきた昇給、昇格人事を旧市町村ごとに持ち寄ったものであり、人事の調整や考え方については、旧市町村それぞれ違いがあると思われるし、同年齢でも学歴や経験年数等により昇格にも若干の差が出てきていると思われるが、旧態依然とした年功序列による昇格を見直し、能力、実力を加味した昇格人事も今後は考えて行く時代に来ていると思っており、今後、十分検討のうえ対処して参りたい。

■裁判員制度について

杉澤千恵子（大曲地域）

【質問】裁判員制度は四年後の平成二十一年五月までにスタートすることになったが、慎重な準備が必要であると認識している。この制度に対する市長の見解を伺いたい。

【答弁】我が国においては、一般人が裁判に関わる機会が少なく、また、裁判制度についても理解も浅く、国民の裁判員制度に対する関心も低く、裁判員に選任されることを望まない方々も相当いるのではないかと思っている。従って、現時点では地方公共団体として裁判制度全体の啓蒙も含めて、どのような対応ができるものなのか、時間をかけて検討させていただきたい。

■消防団について

戸堀實（中仙地域）

【質問】大仙市の消防団については、旧市町村消防団が平等・公平に統一されていかなければならないが、新消防団のあり方について伺いたい。

【答弁】現在の市の消防団は、合併協定に基づき、団長、副団長三人で構成する本部、旧市町村の消防団単位の八支団・四十

可決した議案

《条例関係》

- ☆専決処分報告Ⅱ（西仙北町中小企業の融資斡旋に関する条例等を廃止する条例）
- ☆専決処分報告Ⅱ（大仙市税条例の一部改正）
- ☆専決処分報告Ⅱ（仙北町福祉条例の一部改正）
- ☆大仙市土地開発基金条例の一部改正
- ☆大仙市肉用牛特別導入事業基金条例の一部改正
- ☆大仙市国民健康保険税条例の一部改正
- ☆大仙市立保育所設置条例の一部改正
- ☆大仙市国民健康保険高額療養資金貸付基金条例の一部改正
- ☆大仙市公園条例の一部改正
- ☆大仙市立学校設置条例の一部改正
- ☆大仙市助役定数条例の制定
- ☆大仙市収入役の事務を助役に兼掌させる条例の制定

《補正予算関係》

- ☆専決処分報告Ⅱ（平成十六年度大仙市一般会計暫定補正予算（第一号））
- ☆専決処分報告Ⅱ（平成十六年度大仙市国民健康保険事業特別会計暫定補正予算（第一号））
- ☆専決処分報告Ⅱ（平成十六年度大仙市土地区画整理事業特別会計暫定補正予算（第一号））
- ☆専決処分報告Ⅱ（平成十六年度大仙市学校給食事業特別会計暫定補正予算（第一号））
- ☆専決処分報告Ⅱ（平成十六年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計への繰入）
- ☆専決処分報告Ⅱ（平成十六年度大仙市老人保健特別会計予算）
- ☆専決処分報告Ⅱ（平成十六年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計への繰入）
- ☆大仙市簡易水道事業特別会計への繰入
- ☆大仙市公共下水道事業特別会計への繰入

《十七年度予算関係》

- ☆大仙市簡易水道事業特別会計予算
- ☆大仙市公共下水道事業特別会計予算
- ☆大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算
- ☆大仙市介護老人福祉施設介護サービス事業特別会計への繰入
- ☆大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計への繰入
- ☆大仙市老人デイサービス事業特別会計への繰入
- ☆大仙市スキー場事業特別会計への繰入
- ☆大仙市一般会計予算
- ☆大仙市国民健康保険事業特別会計予算
- ☆大仙市老人保健特別会計予算
- ☆大仙市土地取得特別会計予算
- ☆大仙市土地区画整理事業特別会計予算
- ☆大仙市学校給食事業特別会計予算
- ☆大仙市奨学資金特別会計予算
- ☆大仙市宅地造成事業特別会計予算
- ☆大仙市簡易水道事業特別会計予算
- ☆大仙市公共下水道事業特別会計予算
- ☆大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計予算

《その他》

- ☆専決処分報告Ⅱ（角館町が保育を実施する児童に大仙市立保育所を使用させることについて大仙市と角館町との間における協議）
- ☆専決処分報告Ⅱ（足利市が保育を実施する児童に大仙市立保育所を使用させることについて大仙市と足利市との間における協議）
- ☆専決処分報告Ⅱ（西木村が保育を実施する児童に大仙市立保育所を使用させることについて大仙市と西木村との間における協議）
- ☆専決処分報告Ⅱ（大田区が保育を実施する児童に大仙市立保育所を使用させることについて大仙市と大田区との間における協議）
- ☆大仙市過疎地域自立促進計画
- ☆財産の処分
- ☆秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更
- ☆秋田県市町村会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少
- ☆監査委員の選任
- ☆教育委員会委員の任命
- ☆固定資産評価審査委員会委員の選任
- ☆人権擁護委員の候補者の推薦
- ☆選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

ネットに係るセキュリティ規程を定め、運用を行っているほか、国で定めた外部監査や自己監査などを実施することにより、個人情報管理の徹底を図っている。

■市税の滞納繰越金について

進藤聆爾（協和地域）

【質問】歳入一款、市税の滞納繰越金について、五千三百二十九万九千円の計上であるが、率にして〇・七％である。予想より少ない額と思われるが、合併協議の中で何らかの申し合わせがあったのか伺いたい。

【答弁】平成十六年度決算見込の滞納繰越金の合計を三億五千二百十三万七千円とし、収納率を十五％と見込んで五千二百八十一万九千円に入湯税の滞納繰越額一千二百万円に収納率四十％を見込んだ四百八十万円を加え予算計上したものである。この積算については、合併協議の席上で何ら申し合わせはないが、所得の伸びや景気の動向を鑑みながら、収納額を見込んだものである。

■介護サービス事業費について

佐藤文子（大曲地域）

【質問】重度要介護者を介護する家族を慰労するにふさわしい

手当として、寝たきり老人等介護慰労金事業を有効ある制度に改善して、全市で実施すべきものと考えているが、見解を伺いたい。

【答弁】合併協議会において協議を重ねたが、統一するまでには到らず、合併時は現行どおりとし、その後に再編等について検討することになっており、今年度は、旧七町村で現行どおり実施することで予算編成したところである。今後、各地区の実施内容等を精査するとともに、財政事情を勘案しながら検討して参りたい。

請願・陳情・意見書・決議

【請願】

◎定率減税の縮小・廃止の中止を求める意見書採択に関することについて
|| 継続審査 ||

【陳情】

◎国土調査事業の県内業者育成に関することについて || 採択 ||
◎「骨太方針二〇〇五」において住民本位の地方財政確立に向けた意見書採択を求めることについて
|| 継続審査 ||

【意見書】

◎地方議会制度の充実強化に関する意見書の提出について
◎地方六団体改革案の早期実現に関する意見書の提出について
※この意見書は、大仙市議会の提案により議決し、内閣総理大臣をはじめ各関係大臣に対し、要望しました。

【決議】

◎「非核平和都市宣言」に関する決議

【その他の主な質問事項】

- ▼自然環境保護と資源リサイクルの推進は
 - ▼新地方行革指針について
 - ▼和賀山塊地域保全について
 - ▼教育について・特別支援教育について
 - ▼メディアリテラシー教育について
 - ▼児童保育(放課後児童クラブ)について
 - ▼通学路の整備と児童の安全について
 - ▼子どもの心の育ちについて
 - ▼スポーツ少年団に関連して
 - ▼障害者の生活を考えたまちづくりについて
 - ▼ブランド作物について
 - ▼インフラ整備の優先順位の基準について
 - ▼合併協定書の遵守について
 - ▼外国青年語学指導助手について
 - ▼一般廃棄物の営業区域について
 - ▼大仙市におけるゴミ袋について
 - ▼モーター類似施設の建設について
- ▼男女共同参画について
 - ・条例の制定について
 - ・(仮称)男女共同参画センターの設置について
 - ▼カラーバリアフリーについて
 - ▼防災対策と災害時の対応について
 - ▼子どもの安全・安心対策について
 - ▼使える英語教育について
 - ▼食育教育について
 - ▼知的障害者について
 - ▼「食」と「農」間の歪みについて
 - ▼ゆとり教育と能力重視の狭間
 - ▼学校教育の位置付けについて
 - ・児童生徒の「歯」は健康バロメーター
 - ▼大仙市の均衡ある発展への取り組みについて
 - ▼子どもの遊び場について
 - ▼車両管理について
 - ▼市民税について
 - ▼所得譲与税について
 - ▼認可保育所費について

人事

監査委員

▽田 牧 貞 夫 氏

大仙市角間川町字東中上町五

○番地一二

▽長 澤 春 男 氏

大仙市太田町駒場字高倉一

四番地

教育委員会委員

▽笹 元 嘉 辰 氏

大仙市花館柳町一一番三号

▽伊 藤 甫 氏

大仙市高関上郷字上野五九番

地

▽信 田 健 氏

大仙市字刈和野四五○番地

▽後 藤 眞 暎 氏

大仙市高梨字金堀一○番地

▽佐々木 フミ子 氏

大仙市太田町国見字南村二五

三番地二

固定資産評価審査 委員会委員

▽佐 藤 幸之助 氏

大仙市豊岡字上野三六番地二

▽竹 内 誠 一 氏

大仙市大曲須和町二丁目一

二七号

▽佐 藤 浩 康 氏

大仙市土川字半道寺一二番地

人権擁護委員

▽工 藤 淳 志 氏

大仙市土川字半道寺二五番地

▽和 田 庸 子 氏

大仙市協和上淀川字西町後二

六番地

▽齋 藤 武 氏

大仙市豊川字内村三番地

▽進 藤 高 夫 氏

大仙市協和峰吉川字峰吉川三

一番地

○補充員

▽阿 部 博 安 氏

大仙市土川字上野三二番地

▽佐々木 誠 孝 氏

大仙市橋本字上橋本二三五番

地

▽佐 藤 章 氏

大仙市南外字恵戸野一〇七番

地三

▽黒 田 正 明 氏

大仙市太田町駒場字羽黒堂六

番地一

選挙管理委員会委員 及び補充員

○委員

▽佐々木 優 氏

大仙市大曲船場町二丁目一

四六―二号

▽佐々木 康 浩 氏

大仙市神宮寺字荒屋一七番地

八

議会推薦農業委員会 委員

《東部》

▽鈴 木 孝 篤 氏

大仙市四ツ屋字小又三九番地

一

▽長 澤 勝 久 氏

大仙市豊川字八幡二六九番地

▽佐 藤 文 一 氏

大仙市橋本字中井村一四〇番

地

議員表彰

過日開催された、第八十一回全国市議会議長会定期総会において、次の議員が永年勤続者として同議長会の表彰を受けられ、六月定例会の冒頭でそれぞれ表彰状が伝達されました。

※十年以上

〔全国市議会議長会表彰〕

- ・ 高松 昭 一
- ・ 佐藤 孝次
- ・ 熊澤 龍雄
- ・ 能味 塔 一
- ・ 高橋 敏英
- ・ 高橋 孝夫

本会議の傍聴について

平成十七年九月十八日に大仙市議会議員一般選挙が執行されます。

そのため、九月の定例本会議が例年より早まり、八月二十二日から九月二日まで、十二日間の会期で開催される予定です。傍聴を希望される方は、本会議当日、大仙市仙北ふれあい文化センターにおいて、傍聴受付簿に記入してください。

《お問い合わせ》

大仙市議会事務局

〇一八七―六三一―一一一

(内線三〇三)